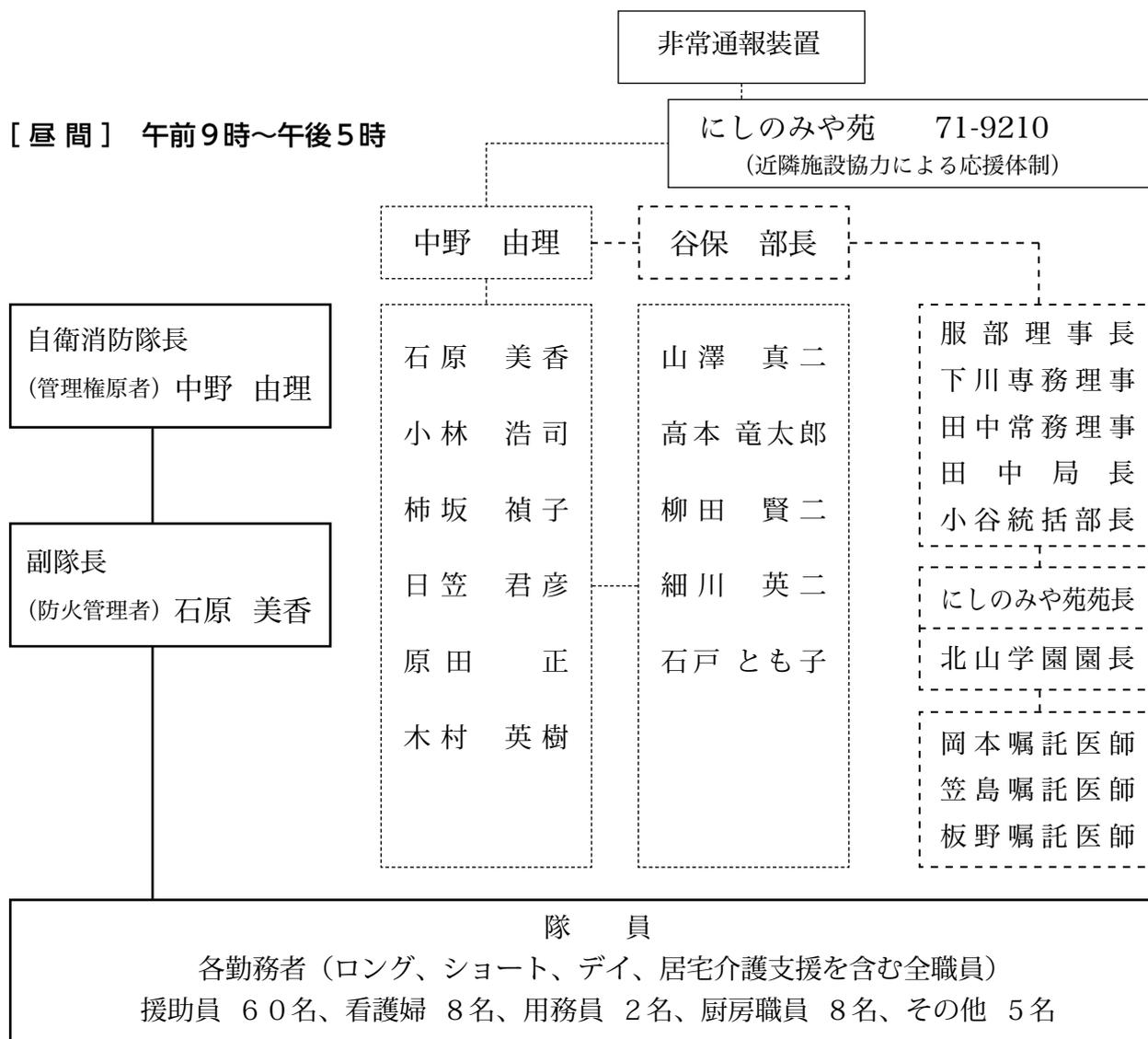




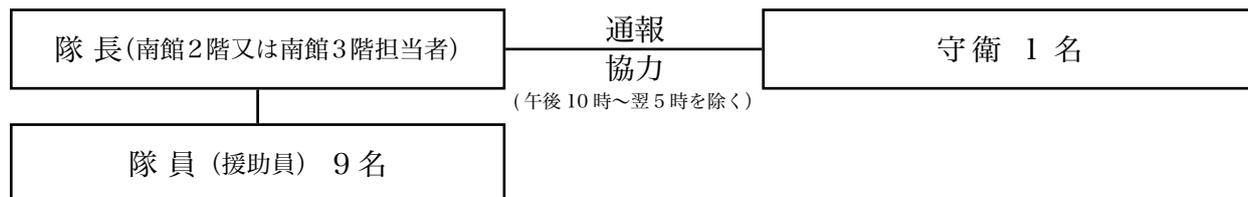
# 防火管理体制と災害発生時の業務分担

令和2年4月1日現在



- ◎ 隊員の主たる業務
- |     |      |    |        |    |
|-----|------|----|--------|----|
| 援助員 | → 消火 | 通報 | 避難誘導   | 救護 |
| 看護婦 | → 救護 |    | 避難誘導   |    |
| その他 | → 消火 |    | 避難誘導補助 |    |

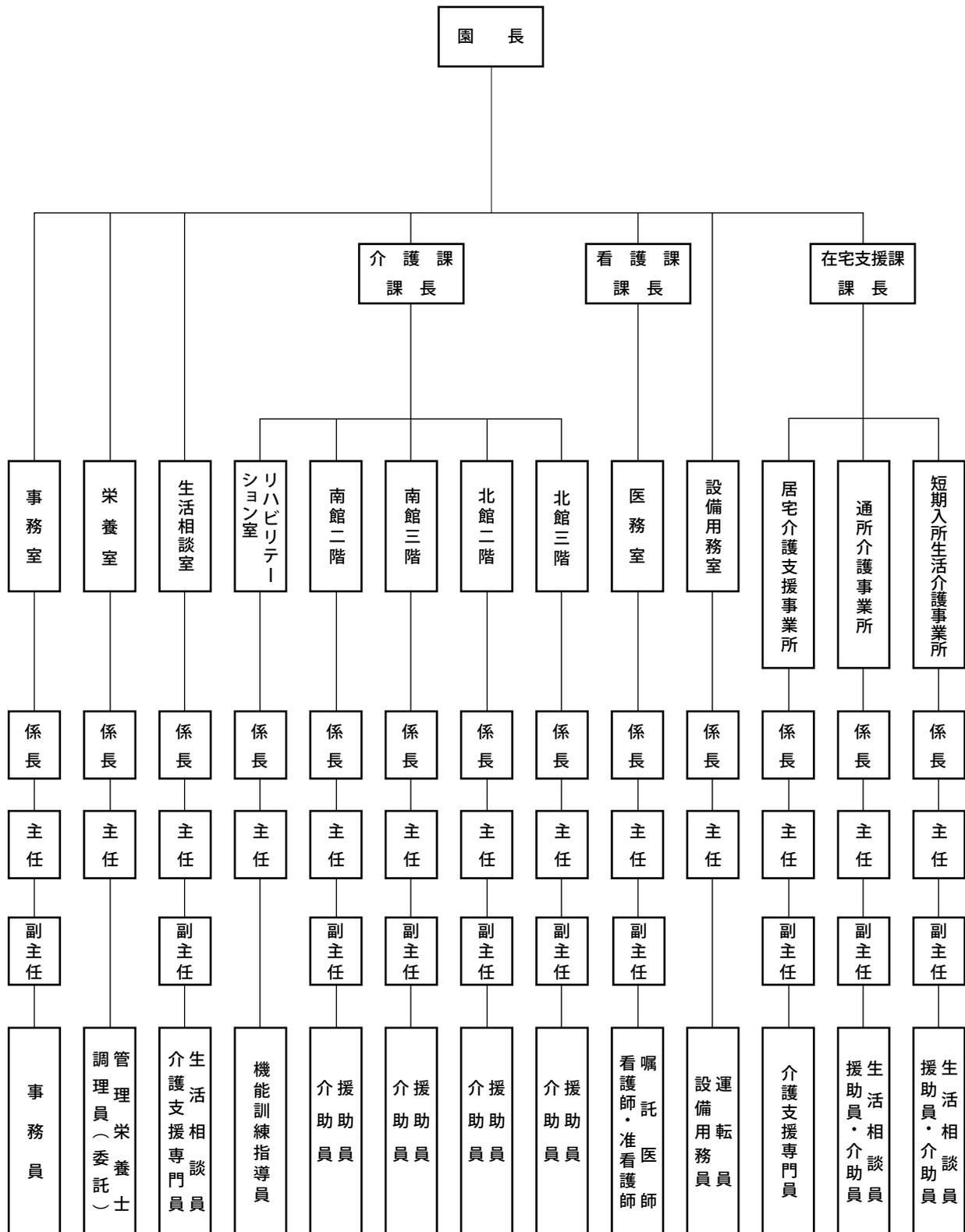
【夜間】 午後5時～翌午前9時

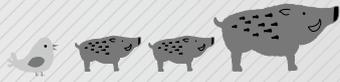


◎厨房遅出・早出職員は非常時には直ちに駆けつけ、消火、避難誘導、救護等の活動に参加するものとする。



# 甲寿園組織図





# 令和元年度 年間行事予定

公休数( )内は事務職

公9		4月	公9		5月	公9		6月	公9		7月	公9 (9+3)	8月	公9		9月	
1	水	法人辞令交付式	1	金		1	月	甲山地区連絡協議会 一般検診①	1	水	職員旅行委員会	1	土		1	火	身体拘束廃止・虐待防 止委員会 経営協議会
2	木		2	土		2	火	サービス向上委員会 経営協議会	2	木		2	日		2	水	
3	金	法人新人研修	3	日		3	水	職員旅行委員会	3	金	夏祭り委員会④	3	月	甲山地区連絡協議会	3	木	
4	土		4	月	ケアプラン委員会	4	木		4	土		4	火	サービス向上委員会 経営協議会	4	金	歓びの会委員会④
5	日		5	火	身体拘束廃止・虐待防 止委員会	5	金	夏祭り委員会②	5	日		5	水		5	土	
6	月	甲山地区連絡協議会	6	水	職員旅行委員会	6	土		6	月	ケアプラン委員会 甲山地区連絡協議会	6	木		6	日	
7	火	サービス向上委員会 経営協議会	7	木		7	日		7	火	身体拘束廃止・虐待防 止委員会 経営協議会	7	金	歓びの会委員会②	7	月	ケアプラン委員会 甲山地区連絡協議会
8	水	新人事制度目標管理 研修 事務員会議	8	金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議	8	月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	8	水	パソコン委員会 事務員会議	8	土		8	火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会
9	木	北2生活援助会議 口腔ケアミニ研修	9	土		9	火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	9	木	北2生活援助会議 北3生活援助会議	9	日		9	水	事務員会議
10	金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議	10	日		10	水	防災委員会 事務員会議	10	金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議	10	月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	10	木	北2生活援助会議 北3生活援助会議
11	土		11	月	甲山地区連絡協議会 ハイカラ倶楽部 (麻雀)	11	木	北2生活援助会議 北3生活援助 会議 口腔ケアミニ研修 一般検診②	11	土		11	火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	11	金	南2生活援助会議 デイサー ビス職員会議 職員採用試験
12	日		12	火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	12	金	南2生活援助会議 デイサー ビス職員会議 職員採用試験	12	日		12	水	防災委員会 事務員会議	12	土	
13	月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	13	水	パソコン委員会 事務員会議	13	土		13	月	相談室会議 ハイカラ倶楽部 (麻雀)	13	木	北2生活援助会議 北3生活 援助会議 口腔ケアミニ研修	13	日	
14	火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	14	木	北2生活援助会議 北3生活援助会議	14	日		14	火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	14	金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議	14	月	安全衛生委員会 (振替) ハイカラ倶楽部 (麻雀)
15	水	口腔ケア委員会	15	金	設備会議 夏祭り委員会①	15	月	安全衛生委員会	15	水	排泄委員会	15	土		15	火	セラピスト会議 経営協議会
16	木		16	土		16	火	セラピスト会議 経営協議会	16	木	南3生活援助会議 口腔ケアミニ研修	16	日		16	水	排泄委員会
17	金	衛生害虫防除作業 設備会議 職員採用試験	17	日		17	水	口腔ケア委員会	17	金	業務連絡会議/係長会 議 設備会議	17	月	安全衛生委員会	17	木	南3生活援助会議 口腔ケアミニ研修
18	土		18	月	安全衛生委員会 相談室会議	18	木	南3生活援助会議	18	土		18	火	セラピスト会議 経営協議会	18	金	設備会議
19	日		19	火	セラピスト会議 経営協議会	19	金	設備会議	19	日	夏祭り	19	水	口腔ケア委員会	19	土	
20	月	高齢福祉事業部会 安全 衛生委員会 相談室会議	20	水	排泄委員会	20	土		20	月	安全衛生委員会	20	木	南3生活援助会議	20	日	
21	火	セラピスト会議 経営協議会	21	木	南3生活援助会議 口腔ケアミニ研修	21	日		21	火	セラピスト会議 経営協議会	21	金	設備会議	21	月	歓びの会
22	水	ケーススタディー研修 甲寿 園便り委員会 消防設備点検	22	金	業務連絡会議/係長会議 感染対策委員会	22	月	相談室会議 ハイカラ倶楽部 (麻雀)	22	水	甲寿園便り委員会	22	土		22	火	リスクマネジメント委 員会
23	木		23	土		23	火	夏祭り委員会③	23	木	研修委員会 園内研修	23	日		23	水	甲寿園便り委員会 相談室会議 (仮)
24	金	業務連絡会議/係長会議 食事・褥瘡予防委員会	24	日		24	水	甲寿園便り委員会	24	金	感染対策委員会	24	月	相談室会議 ハイカラ倶楽部 (麻雀)	24	木	研修委員 会園内研修
25	土		25	月	リハビリ委員会 ハイカラ倶楽部 (麻雀)	25	木	園内研修	25	土		25	火	歓びの会委員会③	25	金	業務連絡会議/係長会 議 感染対策委員会
26	日		26	火	リスクマネジメント委 員会	26	金	業務連絡会議/係長会議 食事・褥瘡予防委員会	26	日		26	水	甲寿園便り委員会	26	土	
27	月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	27	水	甲寿園便り委員会	27	土		27	月	リハビリ委員会 ハイカラ倶楽部 (麻雀)	27	木	園内研修	27	日	
28	火		28	木	研修委員会 園内研修	28	日		28	火	リスクマネジメント委 員会	28	金	業務連絡会議/係長会議 食事・褥瘡予防委員会	28	月	リハビリ委員会 ハイカラ倶楽部 (麻雀)
29	水		29	金	新人事制度目標管理研修 (新係長対象)	29	月		29	水	歓びの会委員会①	29	土		29	火	
30	木		30	土		30	火		30	木		30	日		30	水	
			31	日					31	金	職員採用試験	31	月				



公休数( )内は事務職

公9	10月	公9	11月	公9 (9+2)	12月	公9 (9+2)	1月	公8	2月	公9	3月
1 木		1 日		1 火	サービス向上委員会 経営協議会	1 金		1 月	甲山地区連絡協議会	1 月	ケアプラン委員会 甲山地区連絡協議会
2 金		2 月	ケアプラン委員会 甲山地区連絡協議会	2 水		2 土		2 火	サービス向上委員会 経営協議会	2 火	身体拘束廃止・虐待防止 委員会 経営協議会
3 土		3 火	身体拘束廃止・虐待防止 委員会	3 木		3 日		3 水		3 水	
4 日		4 水	年末年始打ち合わせ	4 金		4 月	ケアプラン委員会 甲山地区連絡協議会	4 木		4 木	
5 月	甲山地区連絡協議会	5 木	新春の集い委員会①	5 土		5 火	身体拘束廃止・虐待防止 委員会 経営協議会	5 金		5 金	
6 火	サービス向上委員会 経営協議会	6 金		6 日		6 水	新春の集い	6 土		6 土	
7 水		7 土		7 月	甲山地区連絡協議会	7 木		7 日		7 日	
8 木	北2生活援助会議 北3生活 援助会議 口腔ケアミニ研修	8 日		8 火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	8 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議	8 月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	8 月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)
9 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議	9 月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	9 水	事務員会議	9 土		9 火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	9 火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会
10 土		10 火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	10 木	北2生活援助会議 北3生活援助 会議 口腔ケアミニ研修 特殊検診③	10 日		10 水	事務員会議	10 水	パソコン委員会 事務員会議
11 日		11 水	パソコン委員会 事務員会議	11 金	南2生活援助会議 デイサー ビス職員会議 特殊検診④	11 月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	11 木	北2生活援助会議 北3生活 援助会議 口腔ケアミニ研修	11 木	北2生活援助会議 北3生活援助会議
12 月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	12 木	北2生活援助会議 北3生活 援助会議	12 土		12 火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	12 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議	12 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議
13 火	入居検討委員会/看取 り倫理委員会	13 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議	13 日		13 水	防災委員会 事務員会議	13 土		13 土	
14 水	防災委員会 事務員会議	14 土		14 月	新春の集い委員会③ ハイカラ倶楽部 (麻雀)	14 木	北2生活援助会議 北3生活援助会議	14 日		14 日	
15 木	南3生活援助会議	15 日	法人合同実践研究発表 会	15 火	セラピスト会議 経営協議会	15 金	設備会議	15 月	安全衛生委員会	15 月	安全衛生委員会
16 金	甲寿園50周年式典 設備会議	16 月	安全衛生委員会	16 水	口腔ケア委員会	16 土		16 火	セラピスト会議 経営協議会	16 火	セラピスト会議 経営協議会
17 土		17 火	セラピスト会議 経営協議会	17 木	南3生活援助会議	17 日		17 水	口腔ケア委員会	17 水	排泄委員会
18 日		18 水	排泄委員会	18 金	年越し餅つき 設備会議	18 月	安全衛生委員会 相談室会議	18 木	南3生活援助会議	18 木	南3生活援助会議 口腔ケアミニ研修
19 月	安全衛生委員会 相談室会議	19 木	南3生活援助会議 口腔ケ アミニ研修 特殊検診①	19 土		19 火	セラピスト会議 経営協議会	19 金	設備会議	19 金	設備会議
20 火	セラピスト会議 経営協議会	20 金	設備会議 特殊検診②	20 日		20 水	排泄委員会	20 土		20 土	
21 水	口腔ケア委員会	21 土		21 月	安全衛生委員会 相談室会議	21 木	南3生活援助会議 口腔ケアミニ研修	21 日		21 日	
22 木	国内研修	22 日		22 火		22 金	業務連絡会議/係長会議 感染対策委員会	22 月	相談室会議 ハイカラ倶楽部 (麻雀)	22 月	リハビリ委員会 相談室会 議 ハイカラ倶楽部 (麻雀)
23 金	業務連絡会議/係長会議 食事・褥瘡予防委員会	23 月	リハビリ委員会 ハイカラ倶楽部 (麻雀)	23 水	甲寿園便り委員会	23 土		23 火		23 火	リスクマネジメント委 員会
24 土	ボランティア感謝の集い	24 火	相談室会議 (仮) リス クマネジメント委員会	24 木	国内研修	24 日		24 水	甲寿園便り委員会	24 水	甲寿園便り委員会
25 日		25 水	甲寿園便り委員会	25 金	業務連絡会議/係長会議 食事・褥瘡予防委員会	25 月	リハビリ委員会 ハイカラ倶楽部 (麻雀)	25 木	国内研修	25 木	研修委員会 国内研修
26 月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	26 木	研修委員会 国内研修 後援会見学会	26 土		26 火	リスクマネジメント委 員会	26 金	業務連絡会議/係長会議 食事・褥瘡予防委員会	26 金	業務連絡会議/係長会議 感染対策委員会
27 火		27 金	業務連絡会議/係長会 議 感染対策委員会	27 日		27 水	甲寿園便り委員会	27 土		27 土	
28 水	甲寿園便り委員会	28 土		28 月	ハイカラ倶楽部 (麻雀)	28 木	研修委員会 国内研修	28 日		28 日	
29 木		29 日		29 火		29 金				29 月	法人新任職員研修
30 金		30 月	新春の集い委員会②	30 水		30 土				30 火	法人新任職員研修
31 土				31 木		31 日				31 水	法人新任職員研修

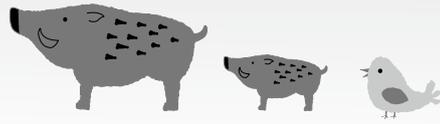
# 令和2年カレンダー 2020年

甲寿園

0)内事務職	日	月	火	水	木	金	土	0)内事務職	日	月	火	水	木	金	土					
4 月 9 21				1	2	3	4	10 月 9 22					1	2	3					
	5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10					
	12	13	14	15	16	17	18		11	12	13	14	15	16	17					
	19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	23	24					
	26	27	28	29 <small>祝</small>	30				25	26	27	28	29	30	31					
5 月 9 22						1	2	11 月 9 21					1	2	3					
	3 <small>祝</small>	4 <small>祝</small>	5 <small>祝</small>	6 <small>祝</small>	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14					
	10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21					
	17	18	19	20	21	22	23		22	23 <small>祝</small>	24	25	26	27	28					
	24	25	26	27	28	29	30		29	30										
	31																			
6 月 9 21		1	2	3	4	5	6	12 月 9 (9+2) 22	特別勤務職員は12/1~2/28の間に振替えて定める											
	7	8	9	10	11	12	13			1	2	3	4	5						
	14	15	16	17	18	19	20		6	7	8	9	10	11	12					
	21	22	23	24	25	26	27		13	14	15	16	17	18	19					
	28	29	30						20	21	22	23	24	25	26					
								27	28	29	30	31								
7 月 9 22	特別勤務職員は7/1~9/30の間に振替えて定める							冬休4 1 月 9 (9+2) 22	特別勤務職員は12/1~2/29の間に振替えて定める											
				1	2	3	4									1 <small>祝</small>	2			
	5	6	7	8	9	10	11		3	4	5	6	7	8	9					
	12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	15	16					
	19	20	21	22	23 <small>祝</small>	24 <small>祝</small>	25		17	18	19	20	21	22	23					
26	27	28	29	30	31		24	25	26	27	28	29	30							
								31												
夏休3 8 月 8 (8+3) 23	特別勤務職員は7/1~9/30の間に振替えて定める							2 月 8 20	特別勤務職員は12/1~2/29の間に振替えて定める											
							1			1	2	3	4	5	6					
	2	3	4	5	6	7	8		7	8	9	10	11 <small>祝</small>	12	13					
	9	10 <small>祝</small>	11	12	13	14	15		14	15	16	17	18	19	20					
	16	17	18	19	20	21	22		21	22	23 <small>祝</small>	24	25	26	27					
23	24	25	26	27	28	29	28													
	30	31																		
9 月 10 20			1	2	3	4	5	3 月 9 22		1	2	3	4	5	6					
	6	7	8	9	10	11	12		7	8	9	10	11	12	13					
	13	14	15	16	17	18	19		14	15	16	17	18	19	20					
	20	21 <small>祝</small>	22 <small>祝</small>	23	24	25	26		21	22	23	24	25	26	27					
	27	28	29	30					28	29	30	31								

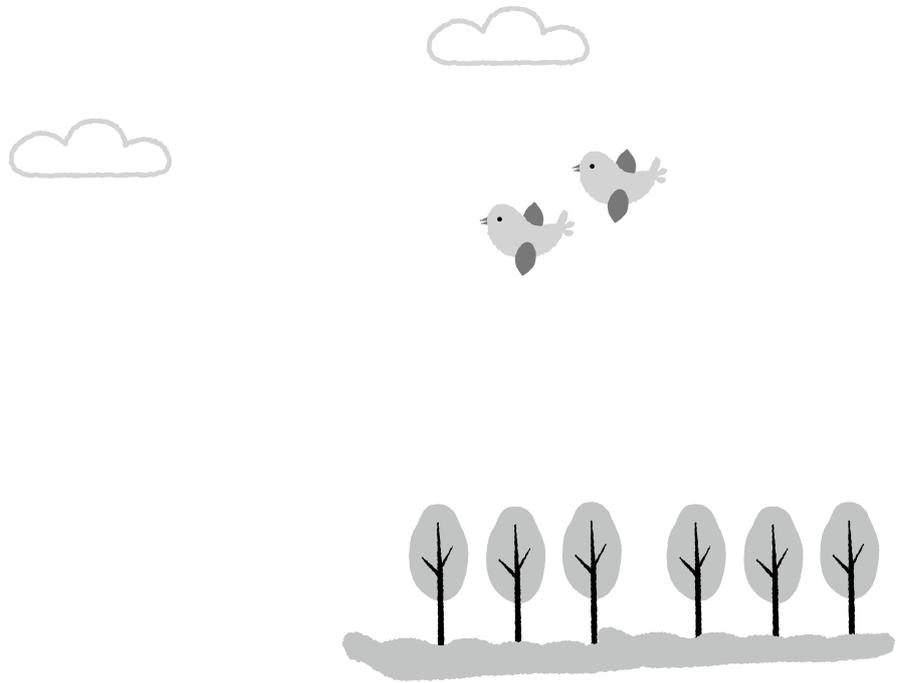
★年間休日 114日（冬期4日・夏期3日）

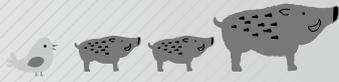
勤務内容	勤務時間	休憩時間	適用職種	備考
早出B3	7:30~16:05	12:00~13:40	援助員 / 看護師 / 機能訓練指導員 事務員 / 相談員 / 栄養士	【日勤の半日有休】 午前の勤務時間 8:45~12:35 午後の勤務時間 13:25~17:20 事務所の休憩時間 12:00~12:50 その他の部署は交替で50分
日勤	8:45~17:20			
遅出D5	10:40~19:15	13:40~14:30		
夜勤	16:50~9:10	23:00~5:00の間に交替して仮眠・休憩(3H)		
早出C2	8:10~16:45	12:00~13:40	設備	
日勤	8:40~17:20		通所介護	
勤務開始時間帯 A⇒6時 B⇒7時 C⇒8時 D⇒9時 E⇒10時 F⇒11時				



# 沿革

---





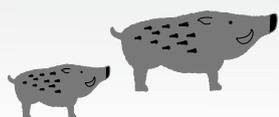
# 甲寿園の沿革

昭36年	(1961)	10月23日	社会福祉法人武庫川児童園設立
昭38年	(1963)	2月	総合社会福祉センター建設計画のため甲山国有林の払い下げを申請(約2万2千坪)
昭41年	(1966)	11月	法人名を「社会福祉法人仁明会」に変更
昭44年	(1969)	8月1日	仮称を『かぶとやま寿楽園』として特養建設工事着工
昭45年	(1970)	4月1日	特別養護老人ホーム「甲寿園」(定員80名)開園 初代園長に吉富長輔氏就任
昭45年	(1970)	8月1日	20名増床のため追加工事に着手
昭45年	(1970)	12月16日	追加工事竣工 定員100名に変更
昭47年	(1972)	3月31日	寮母、看護婦宿舍増築
昭47年	(1972)	6月1日	2代園長に広川義憲氏就任
昭47年	(1972)	9月30日	3代園長に石田英治氏就任
昭48年	(1973)	6月	「社会福祉法人仁明会」を「社会福祉法人甲山福祉センター」に名称変更
昭48年	(1973)	9月1日	4代園長に夷谷定能氏就任
昭49年	(1974)	4月4日	甲山森林火災により利用者全員管理棟と北山学園に避難
昭49年	(1974)	9月1日	5代園長に小松幸一氏就任
昭50年	(1975)	12月1日	重油流出事故起きる(総動員で排水路、河川の拭取り掃除)
昭55年	(1980)	8月1日	6代園長に藤沢貞夫氏就任
昭57年	(1982)	1月22日	浴室改修工事完成
昭57年	(1982)	3月31日	職員寄宿舎改築工事完成
昭57年	(1982)	6月3日	吉富理事長逝去 藤沢貞夫園長理事長代行(6月30日まで)
昭57年	(1982)	7月1日	山内敏弘氏理事長に就任
昭57年	(1982)	11月11日	甲山福祉センター後援会発足(会長に佐藤脩氏)
昭59年	(1984)	3月30日	1階食堂拡張工事完成
昭60年	(1985)	1月1日	7代園長に土井三郎氏就任
昭60年	(1985)	10月28日	重度痴呆性老人短期介護棟増設(定員4名)
昭62年	(1987)	1月1日	デイサービスセンター・特養50床増床計画発表
昭62年	(1987)	4月1日	8代園長に皿海碩氏就任
昭63年	(1988)	11月22日	ベランダ拡張工事・スプリンクラー設置工事竣工式
平元年	(1989)	1月22日	第一回介護福祉士国家試験実施(甲寿園4名合格)
平元年	(1989)	3月1日	居室にナースコール設置
平元年	(1989)	4月17日	園庭に東屋完成
平元年	(1989)	6月2日	浄化槽竣工
平2年	(1990)	4月1日	9代園長に内田和良氏就任
平2年	(1990)	12月	北館建築着工(特養50、ショートステイ20 デイサービス15名)
平4年	(1992)	3月23日	デイサービス(B型)開始、在宅介護支援センター開設
平4年	(1992)	4月1日	増床 定員150名に変更 ショートステイ24名
平6年	(1994)	3月1日	ホームヘルプサービス事業開始
平6年	(1994)	4月1日	10代園長に新在家孝男氏就任
平7年	(1995)	1月17日	早朝5時46分兵庫県南部地震発生(震度6)、ご利用者への被害無し。敷地、建物の被害甚大。在宅の高齢者が救出され緊急入所多数、全国各地より救援物資が届く。全国老施連より応援の介護、看護職員派遣、多数のボランティア来園。ショート特例枠36床にて高齢被災者の受け入れ。
平7年	(1995)	6月1日	被災高齢者のためのケア付仮設住宅を委託され運営(グループホームケア事業)設定基準Ⅱ類型3棟69戸・Ⅰ類型1棟23戸{甲寿園 松生町(Ⅰ類型)、羽衣町、砂子療育園 東町、上田東町}
平8年	(1996)	3月31日	北館2階ショートステイフロアにデイルーム完成

平10年	(1998)	3月31日	南館2階改修工事終了(中央競馬馬主財団より助成)
平10年	(1998)	4月1日	11代園長に八田優希氏就任
平10年	(1998)	3月31日	ケア付仮設住宅閉鎖
平10年	(1998)	9月27日	第1回介護支援専門員研修受講試験実施される(6名合格)
平11年	(1999)	3月31日	南館1回改修工事終了(甲山福祉センター後援会助成)
平11年	(1999)	3月18日	隣接地に特養「にしのみや苑」開設初代苑長に八田優希氏就任
平11年	(1999)	4月1日	12代園長に松岡信哉氏就任
平11年	(1999)	8月20日	南館の改修工事の国庫補助協議書提出
平12年	(2000)	4月1日	介護保険制度始まる。居宅介護支援事業開始
平12年	(2000)	5月1日	法人第1回ホームヘルパー養成講座開講(甲寿園担当)
平12年	(2000)	5月30日	民間老朽化施設改築補助承認の内示を受ける
平12年	(2000)	9月30日	南館改築工事着工(設計・監理(株)都市設計、施工 新井組)
平12年	(2000)	12月19日	南館寮母室、一部居室の仮設建物完成、南館一部解体開始
平13年	(2001)	4月1日	定員160名に変更 ショートステイ14床に変更
平13年	(2001)	11月22日	法人40周年記念、甲寿園南館竣工記念式典・祝賀会挙行
平13年	(2001)	11月26日	新南館の仮使用開始(利用者引越し)
平13年	(2001)	12月	園庭地下を横断している市の排水路(直径150cm)兵庫県南部地震によるものと思われる断裂が発見され、竣工が約3ヵ月遅れることが確実となる。
平14年	(2002)	2月1日	デイサービス、マイクロバス納車(中央競馬馬主財団より助成)
平14年	(2002)	3月24日	南館改築工事竣工記念「甲寿園祭」実施
平14年	(2002)	7月31日	南館改築整備事業終了
平16年	(2004)	4月12日	南館増築、北館改修工事着工(北館2階、3階の各居室に便所の設置、食堂を北館3階に新設、各階にダイルールの設置、デイサービスを南館1階に移転等)定員を北館3階46名から39名に、北館2階24名から31名に変更
平16年	(2004)	11月1日	南館増築、北館改修工事竣工式
平18年	(2006)	3月31日	甲寿園在宅介護支援センター廃止
平18年	(2006)	4月1日	甲寿園地域包括支援センター開設
平18年	(2006)	11月1日	公共下水道供用開始、浄化槽廃棄
平18年	(2006)	11月	デイサービスセンター定員20名から25名に増員
平19年	(2007)	4月1日	日本財団助成、マツダMPV7人乗り乗用車(デイサービス送迎車)
平19年	(2007)	4月1日	甲山地域包括支援センターに名称変更
平20年	(2008)	4月1日	13代園長に狭間孝就任
平21年	(2009)	7月1日	介護労働者 助成金 天井走行リフト13台増設工事着工
平21年	(2009)	8月1日	天井走行リフト工事完成。利用者の60%がリフト使用可能となる。
平21年	(2009)	9月1日	北館給湯機器改修工事(A重油のボイラー廃棄し、都市ガス使用給湯器機設置) 北館空調機器設備改修工事(居室毎に温度設定が可能となる) 南館給湯機器、空調機器の熱源をA重油から都市ガスに転換工事
平21年	(2009)	12月1日	9月1日から始まった工事、全て完了
平22年	(2010)	4月1日	甲寿園創立40周年を迎える。
平22年	(2010)	7月28日	北館厨房改修工事着工(南館1階、新事務室等改修開始)
平22年	(2010)	12月21日	新厨房稼働
平23年	(2011)	1月12日	新春のつどい
平23年	(2011)	1月15日	創立40周年記念市民ボランティア感謝の集い
平23年	(2011)	11月1日	北館2階増床及び改修工事着工
平24年	(2012)	4月	北館増床工事終了 北館2階定員17名から25名に増員 特別養護老人ホーム甲寿園168名に変更
平24年	(2012)	8月	甲寿園訪問介護事業所・甲山地域包括支援センター・甲寿園居宅介護支援事業所の一部総合相談支援センターに移転

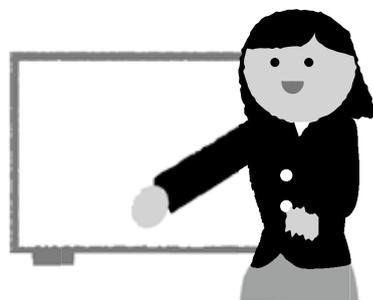
平25年	(2013)	2月	北館3階食堂及び配膳室改修工事着工
平25年	(2013)	3月	北館3階食堂及び配膳室改修工事終了
平25年	(2013)	5月17日	地域交流 春フェスタ開催
平25年	(2013)	9月	デイサービス 特殊浴槽購入設置及び床面工事
平26年	(2014)	7月	北側落石防護柵設置工事
平26年	(2014)	9月	北館3階トイレ及びデイルーム改修工事着工
平27年	(2015)	1月	北館3階トイレ及びデイルーム改修工事終了
平27年	(2015)	8月	南館1階他改修工事着工（デイサービス改修・医務室改修・わいわい広場・アクティブルーム）
平27年	(2015)	9月	南館2階居室空調設備改修工事
平27年	(2015)	12月	南館1階他改修工事終了
平27年	(2015)	12月21日	天皇陛下御下賜金 伝達式
平28年	(2016)	5月	南館3階居室空調設備改修工事
平28年	(2016)	5月	北館ベットライト工事
平28年	(2016)	11月	南館空調熱源吸収冷温水機保全工事
平28年	(2016)	12月	北館2階特殊浴槽購入設置
平29年	(2017)	3月	故山内敏弘名誉会長ご寄附によるグランドピアノ購入
平29年	(2017)	4月	14代園長に中野由理就任
平29年	(2017)	4月	居宅介護支援事業所（3人体制）
平29年	(2017)	6月	甲寿園電話設備更新
平29年	(2017)	8月	甲寿園誘導灯更新
平29年	(2017)	10月	北館3階浴室床改修工事及び北3特殊浴槽購入設置
平29年	(2017)	12月	甲寿園全館非常放送設備更新
平30年	(2018)	4月	デイサービス定員28名から30名へ変更
平30年	(2018)	8月	台風20号の大雨被害を受ける（軽車両3台水没）
平30年	(2018)	10月	南館2・3階特殊浴槽購入設置及び南2へ座位浴移設
平30年	(2018)	10月	西宮市総合防災訓練「福祉避難所」開設訓練を行う（にしのみや苑合同）
平31年	(2019)	1月	利用者用業務用洗濯機1台リース契約
平31年	(2019)	2月	受水槽2号機汚水中継ポンプ取り換え工事
平31年	(2019)	4月	屋上防水及び北館外壁工事着工
令元年	(2019)	5月	高圧絶縁監視装置を屋上に設置
令元年	(2019)	6月	デイサービス浴室カラン取り換え工事
令元年	(2019)	6月	デイサービス脱衣室空調更新
令元年	(2019)	7月	屋上防水及び北館外壁工事終了
令元年	(2019)	7月	北館3階内装工事
令元年	(2019)	9月	北館2階給湯管修理
令元年	(2019)	12月	デイサービス福祉車両購入
令元年	(2019)	12月	甲寿園 パソコン入れ替え（42台）
令2年	(2020)	1月	日本国内初 新型コロナウイルス感染者報告される
令2年	(2020)	2月	新型コロナウイルス感染症対策の為、面会禁止及びボランティア受け入れ中止
令2年	(2020)	3月	感染対応が引き続き行われる

令和元年度



# 実践研究発表

---





# 園内実践研究発表会

令和元年10月2日(水)

時間：14:00～15:30

場所：甲寿園 会議室

## プログラム

- ① 「笑顔あふれるフロアを目指して」…………… P.81  
発表者：南館2階 松本 知子
- ② 「協働ケアによる臀部接触皮膚炎へのアプローチ」…………… P.82  
～協働ケアと園内の物品工夫を振り返る～  
発表者：医務室 吉田 夏樹
- ③ 「不安なく毎日楽しく生活を送りたい！」…………… P.83  
発表者：北館2階 嶋田 源
- ④ 「自分らしく輝ける作業・活動機会づくり」…………… P.84  
発表者：リハビリテーション室 中村 千穂

# 「笑顔あふれるフロアを目指して」

南館2階：松本 知子 / 丸山 壽美子 / 西海 優佳

〈キーワード3つ〉

笑顔

喜び

コミュニケーション

## 【はじめに】

現在、南館2階フロアでは52名の利用者が生活されています。ある日、「いつも退屈している。何もすることが無い。」とされているのを耳にし、何人かの利用者に話し掛け尋ねると「何か楽しいことがしたい。」と言われました。その言葉をきっかけに日々、施設で生活をする中で少しでも季節を感じ、楽しみや喜びを見出し、笑顔になって頂きたいと思い、季節を感じられるレクリエーション活動をフロア全体で取り組みました。

## 【とりくみ内容と対象】

2019年3月から8月までの5か月間、南館2階フロアの全利用者を対象に行いました。

- ①季節を感じられフロア全体で出来るよう季節のちぎり絵を作成する。
- ②「カルタ」「塗り絵」など個々に取り組んで頂く。
- ③毎月、南2階の新聞を発行する。

## 【結果】

- ①最初は「私はいいわ。」「見とくだけにする。」と消極的な方も多く見られましたが他の方が「一緒にしよう。」「ここにおいで」などと誘う事によって段々参加する人が増えてきました。製作中も利用者同士楽しそうに会話が弾んでいました。
- ②個々に対応する事によっていろいろな利用者に関わる事ができました。
- ③利用者も職員も発行を楽しみにするようになりました。

## 【考察とまとめ】

今回の事例を通して、毎日の生活の場であるからこそ生活の中に楽しみを見出しフロア全体が笑顔になる事の大切さを再認識することができました。楽しみだけでなくまだ自分にはいろいろな事が出来るという自信につながり生活の中で色々な事に少し積極的になった利用者もいます。今後も少しでも楽しい時間を過ごせるようなフロア作りをしていきたいと思えます。



# 「協働ケアによる臀部接触皮膚炎へのアプローチ」

## ～協働ケアと園内の物品工夫を振り返る～

医務室：吉田 夏樹

〈キーワード3つ〉

協働

臀部接触皮膚炎・IAD

物品の工夫

### 【はじめに】

我が国の高齢化率は平成 29 年時点で 27.7% へ至る。平成 29 年改正介護保険法では地域包括システムの深化があげられ、特別養護老人ホームは在宅化という面を担う場所ともなり重症化が進むことが示唆される。全国老人福祉協議会の調査で介護施設入居者の 41.9% がオムツで排尿を行っているとの報告があり、当園の平成 31 年 2 月現在で入居者の約 48% がオムツで排泄を行っている状況がある。失禁関連皮膚障害（以下 IAD）は便または尿が皮膚に接触することで生じる皮膚炎と定義される。オムツ使用者率より IAD 発症のリスクは高く、適切なケアを求められる。今回、臀部接触皮膚炎（経過より IAD と考える）と診断され、協働ケアと物品の工夫で治癒に至ることができたことを振り返り報告する。

### 【とりくみ内容と対象】

対象者：A 氏、90 歳台後半、現病歴：認知症・慢性心不全・慢性腸炎・過活動性膀胱。

倫理的配慮：対象者の家族へ対し、研究主旨と内容、撮影写真の取扱い、プライバシーの保護、結果の公表方法、研究参加は自由意志で承諾ができ、不利益が生じない事を説明し同意を得た。

発症経緯：平成 19 年より甲寿園短期入所を利用開始、平成 30 年 7 月に長期入所。整腸剤の定期服用あるが軟便～泥状便の排便を 1-5 回 / 日で認め、8/17 に肛門近くに潰瘍形成を発端に 1 週間後には両臀部に創縁不明瞭な糜爛を発症。

とりくみ内容：平成 30 年 8 月中旬～ 11 月下旬の対象期間に 1 回 / 日は看護師も介護職員とともにオムツ交換に入り協働でケア・処置を行い、パッドの使用方法を工夫する。1 回 / 週程度で写真撮影し客観的評価を行う。協働ケアへの振り返りアンケートを介護職員へ行う。

### 【結果】

数種類あるパッドより軟便を吸い取りやすいパッド選択し使用方法からパッドを 5cm 幅程度に切断し、創部を洗浄し皮膚科処方軟膏塗布後に創面に貼付するようにした。この処置を看護師と介護職員で 1 回 / 日は協働で行い、発症後 71 日目で肛門近くに糜爛がわずかに残るが臀部の皮膚は治癒に至った。写真は前後を比較することができ、記録客観的評価を行うことができた。介護職員に行ったアンケートでは協働ケアは良かった・押し拭きの理解ができた・今後のケアへ繋がられるケアであったとの回答を得るに至った。

### 【考察とまとめ】

アンケート結果からも協働でケア・処置を行ったことは、看護師と介護職員との認識差を縮小できた。しかし、工夫方法に関しては看護師発信であり、また、評価写真からの治癒過程の情報共有の活用には至れなかった。今後は、統一したケアに繋がるように情報共有の方法やケアに関して協議・検討する機会をもつことが課題である。



# 「不安なく毎日楽しく生活を送りたい！」

北館2階：嶋田 源 / 山澤 真二 / 鉢呂 伊久子 / 竹延 賢志

〈キーワード3つ〉

安心

コミュニケーション

その人らしい暮らし

## 【はじめに】

入所当時よりS様は不安症状があり、「どうしたらいいの」等の言動があったり、日中立ち上がりや独りで歩いてしまわれたりと、ゆっくりと安心して生活を送ることができていなかった。職員一同はS様に穏やかな生活を送って頂きたいと思い、S様の不安症状の原因やよく出る時間帯を把握した上で、S様の既往歴を家族様からお聴きし、不安症状が出た際はゆっくりと話を聴くようにした。昔の話などから職員が寄り添う事で少しでも不安症状が出ずに安心して生活を送って頂けるようになるのではと考えた。

## 【とりくみ内容と対象】

対象者：S様…平成30年11月15日入所。95歳（要介護5）

- ①S様のご家族に聞き取りを行い、S様の生活歴を職員全員に報告し把握してもらう。
- ②S様の生活を観察し、どの時間帯に不安症状が出やすいか、どのような状況で不安になるのかを観察し記録をする。
- ③S様はどのようなお話しをして関わると、不安症状が治まり安心できるかを記録する。

## 【結果】

- ・朝方に特に不安症状になられる事が多いとわかり、また1人になると不安になり、どうしたらいいのかがわからなくなっていた。
- ・S様が不安になられた際には、横に座りながら、昔の料理教室をされていた時のお話や、服を手編みで作られていた時のお話をすると大変いい笑顔でお話しを下さった。
- ・以前は食堂にいた際も落ち着かれない様子が多かったが、職員との関わりも増えて食堂の椅子に座り、ゆったりした時間を過ごして頂けるようになった。
- ・職員にも変化があり、以前は業務に追われ利用者の心のケアまでは行えていなかったが、周りをしっかりと見渡し、不安になっている人はいないか？困っている人はいないか？と考えるようになり、そのような利用者が安心できる環境を作れるようになった。

## 【考察とまとめ】

少しずつではあるが、不安で「何をしたらいいの？」等の言動や、落ち着かれない様子で1人で立って歩かれてしまう事も少なくなり、笑顔でゆっくり生活を送られる日が増えてきた。職員との距離も縮まり気さくに昔のお話し等もして下さるようになった。職員も他の利用者にも何か困ったことはないか等、気配りや声掛け等を積極的に行えるようになった。



# 「自分らしく輝ける作業・活動機会づくり」

リハビリテーション室：幕 良美 / 中村 千穂 / 小田 浩美 / 吉田 瞳

〈キーワード3つ〉

個別

輝き

環境設定

## 【はじめに】

当施設では、リハビリ活動として集団活動（体操・レクリエーション・クラブ活動）、個別活動（機能訓練・姿勢ケア・作業活動等）日々の生活動作を通して心身機能を維持し、他者との繋がりや楽しみ・役割を持ち、豊かに自分らしく生活するための支援を行っている。前研究（2017年）にて集団活動の中のできる事に焦点を当て活動を取り組んだ。現在も取り組みを継続しているが、集団活動時以外にも利用者の本来持っている能力や役割を活かせるような機会を作れないかと考え、今研究では個別活動に焦点を当て、利用者が自分らしく輝ける作業・活動機会の提供、そのための環境設定等の取り組みを行った。

## 【とりくみ内容と対象】

前研究で作成した利用者ができている事、今後出来そうな事をまとめた表を継続して活用し、職員間で都度話し合いを行いながら「各利用者らしさ（輝き）」を持った作業や活動を提案した。その内容を①家事活動を通して習慣化へ②趣味・特技を活かし、他者交流へ③本人らしく輝ける時間を獲得の3項目に分け報告する。対象は特養入居者とショートステイ利用者とする。今回の取り組みにあたりご本人の意思や自主性を尊重して行った。

## 【結果】

- ①では、集団活動より会話を楽しむ事が多かったが、家で行っていた家事活動を提供したところ、自主的に家事活動へ取り組むようになり、集団活動へも参加するようになった。
- ②では、集団活動には拒否的で失語から他者の前で歌うのを避けていた方が個別での関わりから徐々に集団活動へと広げる事で、他利用者との交流ができ人前で発表する事が出来るまでになった。
- ③では、不安な思いから問題行動がみられたが、職員が作成した自身の言葉が書いてある名言集を作ることで、人との繋がりが生まれ、落ち着きや新たなコミュニケーションへと繋がった。

## 【考察とまとめ】

今回の取り組みは、個人活動でも出来る事を見つけることで役割が生まれ、趣味活動や昔の経験を生かした活動を続けられる場を作ることで、成功体験が積めたり、1対1から1対2～3へと他者との繋がりをつくる事が出来た。また、人との繋がりから安心感や意欲向上へと繋がるなどといった効果が得られた。前研究に引き続き、利用者が出来る事を意識的に探すことで、職員側も習慣的に「こんなことできるんじゃないか？」と積極的な意見交換や行動に繋げる事ができた。そのことが利用者らしさ（輝き）へと繋げる事ができた。

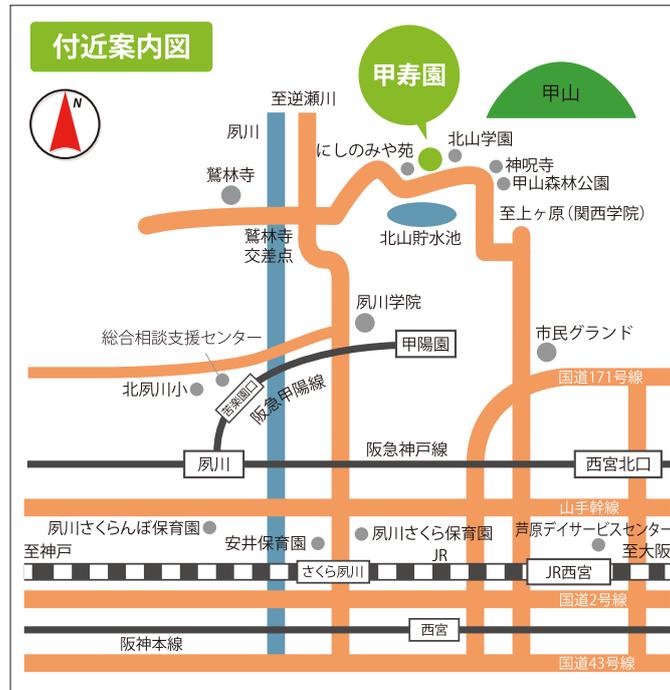




甲寿園だより  
令和元年度年報  
令和元年度事業報告  
令和2年度事業計画

発行日 令和2年8月  
発行 社会福祉法人甲山福祉センター  
特別養護老人ホーム 甲寿園  
〒662-0001 西宮市甲山町53  
TEL 0798-71-8236  
FAX 0798-73-7303  
URL <https://kojyuen.jp>  
Email [kabuto.01@minos.ocn.ne.jp](mailto:kabuto.01@minos.ocn.ne.jp)

発行責任者 園長 中野 由理  
協力 株式会社 ビィー・プランニング



### 阪神バス

阪神西宮駅から鷺林寺線で  
約25分。  
甲山墓園下車徒歩2分

### 阪急バス

阪急夙川駅から約20分。  
甲山墓園下車徒歩2分

※施設見学(平日9時~17時)ご希望のお時間をお知らせ下さい。



社会福祉法人 甲山福祉センター **甲寿園**  
特別養護老人ホーム

Kabutoyama Fukushi Center Kojuyuen  
〒662-0001 西宮市甲山町53



**TEL 0798-71-8236(代)**

FAX 0798-73-7303

✉ kabuto.01@minos.ocn.ne.jp

https://kojuyuen.jp

居宅介護支援事業所(ケアプラン作成)

通所介護事業所(デイサービス)

短期入所生活介護事業所(ショートステイ)

厨房室専用

**TEL 0798-71-8237**

**TEL 0798-71-7007**

**TEL 0798-71-8474**

**TEL 0798-71-7496**